

令和6年能登半島地震におけるLPガス供給

- 七尾基地や充填所等が被災したものの、他の基地や充填所等からの応援配送等により、需給に支障は生じなかった。

【七尾基地】：七尾基地の被災等を受け、被災地域へのLPガス安定供給と被災設備の早期復旧に向け、日本LPガス協会内に災害対策本部を設置し、元売各社や行政を含む関係者間で情報共有・議論しながら対応。国交省の港湾部局や自治体の道路部局等の理解・協力も得つつ、通常どおりの出荷体制に移行（3月1日）。それまでの間は他の基地からの代替出荷により対応。

【充填所】：能登4市町の3カ所のうち2カ所は稼働停止したが、他の充填所でLPガスをボンベに充填して配送することで対応。

【需要家設備】：安全点検により2月中旬にはLPガス使用に支障のない状況（倒壊等の場合を除く）を確認し、復旧を完了（2月28日）。

※ 被災者支援パッケージにおいて、被災したLPガスの充填所等の設備復旧支援を措置。

- 補助金によりLPガスタンクを設置した福祉施設等は、避難所として機能。
- LPガスは、避難所における炊き出しや洗濯機等の燃料としても活用。

【能登4市町のLPガス充填所】



【避難所の炊き出し対応】



【洗濯ニーズに対応、ランドリー車を派遣】
(燃料としてLPガス供給)

【仮設住宅へのLPガス設置】

